

Righteousness & the Gaza “War”

義とガザ「戦争」

アリエル・ブルーメンソール

2014年7月25日



先週1週間、私たちがガザの状況について熱心に祈っていた時、聖霊により、章の主題が「義」であるところの、**イザヤ51章**の数節が強調され、与えられました。

1節：義を追い求める者、主を尋ね求める者よ。わたしに聞け...

親イスラエル／反イスラエルかを問わず、ほとんどの敬虔なクリスチャンは、「義」や「正義」の問題についてとても気に掛けています。ガザで起こっている出来事がメディアで描写されているのを見ると、死者数や負傷者数が双方とも加算されていく様子は、まるで数字のゲームのようです。それはまるで、7:1 でドイツがブラジルを下したワールドカップサッカーの試合のようです。一見、その「ゲーム」は不公平な感じがします。より多くの、罪のない様に見えるパレスチナアラブ人たちが死んでいく一方、イスラエル側の死者数は比較的低くなっています。そしてこれは通常の「戦争」ではないのです。双方が、より大きな被害を受けたことを理由に、自分たちの道徳性の高さを強調するため、話術を駆使しています。そのようにして、戦場での闘いが重要なものと同じくらい、インターネットや SNS を通じた PR 合戦は激しさを増しています。この複雑な状況の中、何が「正しく」何が「間違っている」のか見定めることが大きな課題となっています。こういった中、神さまの義はどこに見つけることができるのでしょうか。

第2章：あなたがたの父アブラハム...を考えてみよ。

ここには深遠な聖書の一貫した心理が啓示されています。神の義が一番で最高であり、人間

的な善悪の勘定の正確さによるものではなく、また双方にどれだけの犠牲者が積み上げられたかという問題ではないのです。むしろ神さまの「選び」、つまり神さまの「神」および「この世の支配者」としての権利、そして主権者として、御自身の意思にしたがって選ぶことなのです。ローマ書で使徒パウロがしたように、イザヤは、神さまがアブラハムとサラを、そしてイサクとヤコブ、ひいてはイスラエル（国＝人と土地）を選ばれたことが、神の義を理解する上で第1ランクにあることを指摘しています。神さまは究極的に義です。それは神さまが人間に与えた道徳的基準によるのではなく、またアブラハムが生を受けた人間の中で最も義と正義に満ちていたからという訳ではなく、神御自身が主権を持つ王であり、世界の創造主だからなのです。（もちろん、神の義の第2ランクには、私たちが探し求め従うべき、信じられない程高い、道徳的基準や正義があります）

第3章：まことに主はシオンを慰め...

この終わりの時にある私たちに与えられた教えはこちらです。特にイスラエル・エルサレム・シオンに関して、義と正義を正確に見分けることができるよう、*先ず「選び」についての教義を受入れ、具体的にはアブラハム、イサク、ヤコブを通じてのイスラエルとユダヤ人の神さまによる選び、そして究極的にはイスラエルの王、そして王の王であるイエシュア（イエスさま）にある、独特な選ばれた者としてのあり方を受入れる必要があります。*これは何も、イスラエルのすることが何でも「正しい」という訳ではありません、それは同じく神さまに選ばれたイエシュアの信者について同じことが言えます。主こそが、ご計画し、召命を与え、義となさり、栄光をお与えになる方なのです。（ローマ 8:28-30）私たちがもしこの聖書の優先順位を忘れた時、つまり、私たちが全くその価値のない者であるにも関わらず、神さまが、恵みによって選ばれたことに対し忠実であることを忘れた時、私たちは、とても複雑な状況の中、またはメディアによる、より巧妙な洗脳によって、誰が正しくて、誰が間違っているのかを量ろうとするという継続的な欺きの危機の中にあります。「たとい、すべての人を偽り者としても、神は真実な方であるとすべきです。」（ローマ 3:4）

ガザ住民への憐れみ



私たちがガザ住民に憐れみを持たば持つ程、ハマスの専制政治を破壊すべきです。そのような憐れみが少ないのであれば、単なる停戦に応じ、ハマスが統治するの任せる方が楽なのです。

神さまは万軍の主（YHVH＝神の御名を表す4文字）であることを思い出しましょう。主は勝利の御霊を与えてくれます。戦いは勝つことが出来、義は現されます。神には恐れはありません。現代まで神さまは戦いに負けたことはありません。イエシュアは天の軍勢の最高司令官なのです(出エジプト 15:2、ヨシュア 5:13、黙示録 19:11)。

イエシュアは、霊的な戦いにおいて、まず強い人を「縛り上げて」から、「分捕り品」を取り上げるべきだと教えています(ルカ 11:21)。ここでの強い人とは過激派イスラムの霊で、分捕り品とは救われるべきパレスチナ人の魂です。私たちが、この戦争の背後にいる悪霊の力を縛り上げるよう祈るとき、これらテロリストグループは破壊され、信仰の解放、救い、平和と繁栄の新しい波がやってくる事が出来るのです。